

116-7
526

第一 昭和25年度奨学生数と学生總数との割合について、調

1. 大学高専一般奨学生

(1) 学生總数 (昭和24年度文部省調査) 381,038

(2) 奨学生總数 (昭和25年度末見込人員) 42,498

(3) (1)に対する(2)の比率 11%

2. 高等学校奨学生

(1) 生徒總数 (昭和24年度文部省調査) 1,624,597

(2) 奨学生總数 (昭和25年度末見込人員) 36,561

(3) (1)に対する(2)の比率 2.2%

3. 教育奨学生 (義務教育教員養成のため)

(1) 教育学部学藝学部在籍者總数 31,209

(2) 教育奨学生志望者数 28,029

天野 478

(ハ) 採用予定人員

甲種 (月額 500円) 18,728

乙種 (月額 1,800円) 9,301

(備考) 乙種教育奨学生、教育奨学生志望者総数に対する比率は凡そ33パーセントである。

二、 昭和25年度奨学生出願状況及採用予定 (7月6日現在)

	種別	出願者数	採用者数	比率(%)
4月 採用者	教員養成諸學校	989	460	46.5
	専門學校	2,656	1,165	43.8
	大學豫科	131	81	61.8
	舊制大學	1,536	736	47.9
	小計	5,312	2,442	45.9
6月 採用 予定者	種別	出願者数	採用予定者数	比率(%)
	新制大學	17,607	5,000	27.3
	短期大學	672		
	舊制大學	7,171	1,700	23.7
小計	25,450	6,700	26.3	
總計		30,762	9,142	29.7

日本育英會

第三 学資困難の状況

大学で学資に困窮しているものは別紙調査の示す通り学生総数の約70%に當るものとみなされる。その内特に優秀な学生はその半数即ち全学生の35%に當るものとみなされる。

本年度末に於ける奨学生数は学生総数の10%を僅かに超える程度で之を少くとも30%にまで高めることは緊急の要務である。